

第51回全国高校生集会 集会のまとめ

みなさん、3日間の集会、たいへんおつかれさまでした。ここで生徒の全国実行委員会を代表して、平和・人権・民主主義を考える第51回全国高校生集会を振り返って、集会のまとめを述べたいと思います。

私たちは、8月20日（木）から22日（土）の3日間、兵庫県神戸市で第51回全国高校生集会をおこないました。昨年度の第50回集会で、第51回目からは8月におこなうことを確認し、8月に全国集会をおこなうのは今回が初めての年となりました。参加者は4府県から64名でした。

まず、初日の午後は、人と未来防災センターでお話を聞き、震災を疑似体験したり、見学したりしました。1995年1月17日に阪神淡路大震災が発生した当時、神戸市立二葉小学校の先生だった佐々木先生からのお話を聞き、仮設住宅のトイレが断水のため大便が70cmほど山積みになっていたのを、活魚を運ぶトラックが海水を運びバケツリレーでトイレに水を流し、協力し合ってこの問題を解決したという話が印象的でした。また、救急隊や自衛隊の人々によって救助された人より、近所の方々に救助された人が多かったということや、卒業式は自分の学校の講堂でおこないたいということで二葉小学校の講堂に避難している人の荷物をリレーで移動させて卒業式をおこなったことなどのお話を聞き、心を打たれました。そのあと、阪神淡路大震災の震災追体験をし、映像と音や光によりあらためて恐怖を覚えました。一瞬にして家屋やビルが大きな音を立てて倒壊し、それまでであった生活が失われていったのです。当時の人々が感じた絶望ははかり知れませんでした。震災直後のシオラマ模型もリアルで目をそむけなくなるほどでした。避難場所として使われていたと思っていた体育館にはたくさんの棺が並べられ、そこでお葬式もおこなれていたことを知り、驚きをおぼせませんでした。震災直後から少しずつ復興していく様子の写真を見て、20年で街がこんなに変わるのかと思い、あらためて人々の強さを感じました。

勤労会館でおこなわれた開会行事では、各府県からの経過報告があり、様々な取り組みがおこなわれていて、自分たちの活動にも取り入れたいと思いました。

2日目の午前は、JR新長田駅に移動し、まず鉄人28号の巨大なモニュメントを見て、復興への力強さを感じました。森本真さん（神戸市会議員）から三国志ガーデン交流館でフィールドワークについての説明があり、DVD「新長田ストーリー」では、震災直後の様子をインタビューしたのを見ました。その後、2つの班に分けて、商店街を順に回りました。丸五市場の鳥肉の西村の西村さんは、震災当日は商店街が定休日だったため、火災を免れることができ、水が来るようになった1月末には営業を再開し、市場を活性化するための取り組みとして、7年前からアジア各国の料理を出す店を募集し6月から10月までの第3金曜日に「丸五アジア横丁ナイト屋台」を開催し、多くの客で賑わい、活性化させています。次に大正筋商店街お茶の味萬の伊東さんのお話は、商店街の7割が消失しましたが、ベニヤ板1枚で営業を再開し、人のつながりや助け合いが大事だということに気づかれ、経験と仲間の支えで生き抜いてきたとのことでした。六間道商店街のフルーツのシマザキの島崎さんの話によると、この商店街は焼けなかったので再開は早く、三国志で商店街を活性化させようと、三国志なりきり隊として毎月最終日曜日に店主やその家族が三国志の衣装を着て客を呼び込もうとしているそうです。フィールドワークをして「阪神淡路大震災で焼け、壊れた商店街がまるでうそのようにきれいになっていました。その裏には、商店街の人々の並々ならぬ努力と絆があったのだと思います。」という感想がありました。

2日目の午後と3日目の午前は、2つの分散会に分かれて、レポート報告・討議をおこないました。

第1分散会では、『山口銘葉外郎』普及活動について」「京都と戦争」「岡山空襲と戦災遺跡」「友好の架け橋 part 19」「ハンセン病問題について」の報告があり、特産品のグローバル化について、戦争遺跡の保存をどうしていくか、日本は加害者か被害者か、身近に起こっている差別などについて討議しました。

第2分散会では、「かき船移転問題」「18歳選挙権」「頭島について」「大和魂」「水島の善と悪」の報告があり、原爆の恐ろしさ・平和の大切さと広島食文化を共存させるためにどうするべきか、18歳選挙と関連して選挙権年齢と成年年齢を一致させるか、離島に橋がかかったことによるメリット・デメリットについて、戦争終結のきっかけとなった原爆は必要だったか、戦争と公害による健康被害などについて討議しました。

それぞれの分散会では、今年が戦後70年の節目の年でもあり、戦争と平和に関するテーマが多く、憲法や集団的自衛権との関わりで私たち高校生の関心が高まっていると言えます。自分たちの世代が直面している問題について自分たちで考えて決めていかなければなりません。そのためにも知識を身につけ、意見交換を活発にしていけることが必要です。

自分にできることを見つけ、仲間をつくり、行動を起こし、自分たちの未来を築き上げていこうではありませんか。これで集会のまとめとします。

2015年8月22日

平和・人権・民主主義を考える第51回全国高校生集会